

# ホッキョクグマの今とこれから ～私たちにできること～



## 2018年2月24日(土) 13:00~17:00

札幌プリンスホテル 国際館パミール6階  
〒060-8615 北海道札幌市中央区南2条西11丁目  
主催・札幌市(札幌市円山動物園) / 共催・酪農学園大学

札幌市円山動物園では、2018年3月中旬にアジア最大級の施設となるホッキョクグマ館がオープンを迎えます。これを機に、野生で数を減らしているホッキョクグマの保全を推進する活動を札幌市の動物園を拠点として、日本、アジアでも担っていかねばなりません。ホッキョクグマの保全活動を進めるため私たち市民が現状について学び、情報を共有するには、世界で活躍する研究者や専門家の協力が必要です。

そこで、ホッキョクグマの大規模かつ重要な生息地の一つであるカナダ・マニトバ州から専門家を迎え、ホッキョクグマの現状や今後の日本での保全活動について考えるシンポジウムを開催します。

### 講演

**日本の動物園の野生動物管理機関としての働き**  
吉田剛司(酪農学園大学 教授)

**カナダ・マニトバ州でのホッキョクグマの保全**  
ウィリアム・ワトキンス  
(マニトバ州政府 生物多様性保全担当)

**ホッキョクグマの研究の重要性と大学の役割**  
リック・ベイダック  
(マニトバ大学 教授)

**アシニボインパーク動物園での  
ホッキョクグマの保全と研究の取り組み**  
ゲイリー・ランズフォード  
(アシニボインパーク動物園 園長)

### パネルディスカッション

- ◇コーディネーター：吉田剛司
- ◇パネリスト：加藤 修(札幌市円山動物園 園長)  
佐藤伸高(旭山動物園)
- ◇ゲストパネリスト：



ウィリアム・ワトキンス  
(マニトバ州政府 生物多様性  
保全担当)



リック・ベイダック  
(マニトバ大学教授)



ゲイリー・ランズフォード  
(アシニボインパーク  
動物園園長)



英語講演は同時通訳を行います。

\*先着 **200** 名(要事前申込み) / 参加無料(ただし、下記先行施設見学会にご参加いただく際は、別途入園料がかかります)

\*受付期間：**2月11日(日)~20日(火)**

\*受付方法：WEB申込み又はお電話にてお申し込みください。受付混雑緩和のため、出来るだけQRコードからWEBでのお申し込みをお願いいたします。

\*当日の開場時間：12時30分~

(お申込みとの照合が必要になりますので、余裕を持って会場までお越しください)

\*お問い合わせ：札幌市コールセンター (011) 222-4894【営業時間8時00分~21時00分】

\*アドレス：<http://www.city.sapporo.jp/callcenter/uketsuke/2018-0224-hokkyokuguma-kan-symposium.html>



## シンポジウムに参加された方限定で、円山動物園の新施設

### 「ホッキョクグマ館」の先行施設見学会※1にご招待!!

見学会  
日程※2

2/25 (日)  
午後のみ

2/27 (火)  
午前・午後

3/3 (土)  
午前・午後

※1：先行施設見学会は、シンポジウム参加者及びその同行者2名様までご参加いただけます。参加方法はシンポジウム当日のご案内いたします。なお、コールセンターで先行公開のお申し込みをいただくことはできませんのでご注意ください。

※2：見学会は、上記日程から1日を選択いただけます。ご希望日はシンポジウム会場にて伺います。

